

国際イノベーション会議 Hack Osaka 2022 報告書

趣 旨：

大阪市は、2013年4月にグランフロント大阪ナレッジキャピタルに「大阪イノベーションハブ」を開設し、世界中から人材・情報・資金を誘引してグローバルにイノベーション創出をめざす取組みを進めてきた。都市活力研究所は、都市の活力の源となる産業の活性化をミッションに、国内外の起業家の支援や大学、研究機関との連携によるイノベーション促進のための諸活動を行っている。ジェトロ大阪本部は、日本にない先端技術やビジネスモデルを有する優れた外国企業の誘致と、スタートアップの海外展開支援を一体的・有機的に推進することで、イノベーション創出による新規市場創造や日本経済の成長実現に取り組んでいる。大阪産業局は、大阪イノベーションハブを拠点として、国内外のスタートアップの成長支援や大学発研究シーズの事業化推進、各種アクセラレーションプログラムに取り組むとともに、京阪神のスタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市の形成発展に向けて、京阪神の各ステークホルダーとの調整や、大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムの事務局機能を担っている。

本会議は、これら取組みの成果や創出されたプロジェクトのプロモーションの一環として実施するもので、起業家や投資家、大企業、学生、自治体など様々なプレイヤーがエコシステムの主役として参画し、有機的に繋がることで、次々とイノベーションを巻き起こすHack Osaka Movementを発信するとともに、2025年の大阪・関西万博等に向けて、グローバルに活躍するスタートアップに対する大阪の吸引力の向上をめざす。今年度は、万博に向けて実証実験が進む次世代航空モビリティや、まちづくりに欠かせないインフラ（既存インフラの効率化、通信含む次世代インフラ等）に着目のうえ、国内・海外スタートアップによるピッチ、日本企業による共創ニーズの発信、商談会や大阪・関西で生まれた大学発スタートアップの紹介等を通して、イノベーションネットワークの広域展開に取り組んだ。

主 催：国際イノベーション会議 Hack Osaka 実行委員会

(大阪市、公益財団法人都市活力研究所、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
大阪本部、公益財団法人大阪産業局)

日 時：国際会議：2022年2月10日（木）午後1時から午後7時

商談会：2022年2月8日（火）・9日（水）午前9時から午後8時

2月14日（月）より2月25日（金）まで日本企業の希望に応じてスポット対応

会 場：国際会議：ナレッジシアター及びEventHub（ハイブリッド形式）

商談会：Zoom

共 催：大阪外国企業誘致センター（O-BIC）、一般財団法人大阪国際経済振興センター（IBPC 大阪）

協 賛／リバーズピッチ登壇：

池田泉州キャピタル株式会社、株式会社 JR 西日本イノベーションズ、阪急阪神不動産株式会社、
川崎重工業株式会社、ダイキン工業株式会社、南海電気鉄道株式会社

協 力：株式会社 MBS メディアホールディングス、株式会社電通

メディアパートナー：NewsPicks Re:gion

後 援：大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、

京都スタートアップ・エコシステム推進協議会、

ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会、経済産業省近畿経済産業局、

総務省近畿総合通信局、駐日イスラエル大使館経済部、シンガポール共和国大使館、

在日スイス大使館、中華人民共和国駐大阪総領事館、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、

在名古屋ブラジル総領事館、在京都フランス総領事館、在大阪・神戸米国総領事館

賛 同：アサヒビール株式会社、近鉄ベンチャーパートナーズ株式会社、

さくらインターネット株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社みずほ銀行、

株式会社三井住友銀行、株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社読売新聞大阪本社、

りそなグループ ビジネスプラザおおさか・こうべ・びわこ

内 容：

<国際会議>

13:00	Opening Act 松井 一郎 (大阪市長)
13:10	Theme Session 1 「大阪から始まる次世代の移動 人がもっとつながる未来へ」 佐藤 剛裕 (株式会社 SkyDrive 取締役 COO) 田中 大輔 (株式会社ティアフォー 取締役 COO) 手嶋 耕平 (公益財団法人大阪産業局 IoT・RT ビジネス推進部 部長)
14:05	Special Talk 「スタートアップ、最高の挑戦に必要なもの」 稲垣 裕介 (株式会社ユーザベース 代表取締役 Co-CEO/ 株式会社ニュースピックス 代表取締役 Co-CEO)
14:35	Theme Session 2 「産学融合の聖地 大阪・関西を目指して」 伊庭野 健造 (大阪ヒートクール株式会社 代表取締役) 金山 秀行 (関西イノベーションイニシアティブ (KSII) 代表幹事機関 公益財団法人都市活力研究所) 野崎 麻衣 (京阪神スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC) 事務局 公益財団法人大阪産業局) 吉川 正晃 (Human Hub Japan 代表/阪急阪神不動産株式会社 顧問/元大阪市経済戦略局理事)
15:10	Break Session 1 (KANSAI STUDENT PITCH Grand Prix 2021 最優秀賞受賞者によるピッチ) 切田 澄礼 (奈良先端科学技術大学院大学)
15:25	Reverse Pitch 吉澤 宏大 (川崎重工業株式会社 企画本部 イノベーション部 主事補) 岡田 光正 (ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター CVC 室)

	富重 真帆 (南海電気鉄道株式会社 イノベーション創造室 新規事業部) 坂本 りっか (公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 経営企画室 課長代理)
16:20	Break Session 2 (グローバルアクセラレーショ・プログラム「KGAP+」の紹介) 鈴木 博之 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 代表取締役専務・事業開発室長)
16:35	グローバルピッチコンテスト Hack Award 2022 (前半) UrbanChain Group Limited (中国 香港) Autofleet (イスラエル) HeyCharge GmbH (ドイツ) H3 Dynamics (シンガポール) MobyFly (スイス)
17:25	Break Session 3 Josh Grengs (CRUST Japan 株式会社 Operations Manager)
17:40	グローバルピッチコンテスト Hack Award 2022 (後半) FLYING WHALES (フランス) Sharper Shape Inc. (アメリカ) Infinite Foundry (ブラジル) 株式会社アジラ (日本) NanoLock Security (イスラエル)
18:30	Hack Award 2022 表彰式 ~Closing

※登壇者情報はすべて本会議開催時のもの

実施報告：

1. Hack Award 2022 審査過程及び結果

(1) 募集要項 (抜粋)

受付期間：2021年9月14日(火)～2021年10月31日(日)

テーマ・対象分野：

Future Society (豊かで安心した暮らしや持続可能な社会)

主に、次世代モビリティ、インフラ (既存インフラの効率化、通信含む次世代インフラ等)

※大企業との協業など、大阪・関西発のオープンイノベーションに寄与するビジネスモデルである
こと

対 象：国内・海外のアーリー期以降のスタートアップ

※Hack Award 2022 登壇スタートアップは、スタートアップ商談会にも参加できるものとする。

(2) 書類審査

以下5つの観点より書類審査を行い、10社を選定した。

日 時：2021年11月12日(金)

審査基準：1. アイデアの斬新さ Originality

2. 実現可能性 Reality

3. 社会へのインパクトの大きさ Impact
4. 成長性 Scalability
5. 日本進出に対するモチベーション・積極性 Motivation

(3) 本審査

(2) にて選定した 10 社より事前に提出されたピッチ動画及び審査員からの質問に対する回答動画をもとに審査を行い、金賞授与企業を決定した。

審査員 : Brian Lim 氏 (Country Manager of Rainmaking Innovation Japan)
 小林 俊平氏 (Director, Japanese Partnerships of Plug and Play)
 Tim Miksche 氏 (Founder & CEO of transferNET)

また、O-BIC 賞、KGAP+賞、大阪・関西万博/JETRO 大阪本部賞の 3 賞もあわせて各機関より授与。

▼Hack Award 2022 登壇スタートアップ

企業名	国・地域	プロダクト・サービス概要	受賞賞典
UrbanChain Group Limited	中国 香港	カメラとオンラインプラットフォームによるスマート駐車場管理システムで、土地所有者の収益アップを支援する。駐車場の事前予約ではなく、ネット上で空き状況を表示、ドライバーを空いている駐車場へ誘導することで 50%の利益増を実現する。	
Autofleet	イスラエル	フリート事業者向けにフリート車両を最適化してあらゆる需要に対応する VaaS (サービスとしての車両) プラットフォームを提供。運用のダウンタイムを最小限に抑えながらも、あらゆる地域の既存の車両資産を可能な限り効率的に使用することで、新しい効率的なサービスを活発に開始することが可能になる。	
HeyCharge GmbH	ドイツ	マンション、オフィス、ホテルなどに存在する (インターネットアクセスの無い) 屋内駐車環境での充電インフラの拡張性を高め、誰もが手軽に電気自動車を充電できるようにする技術を構築。現地でのインターネット接続は不要。対応デバイスでは、Bluetooth を介してアプリまたは SDK と直接通信することで、システムを利用することができる。	金賞
H3 Dynamics	シンガポール	デジタル化、自律運航関連のソリューション、水素駆動による自律飛行の推進という 3 段階のアプローチで、脱炭素を可能にする先進的なエアモビリティを開発。同社のインフラ外観検査の AI 解析ソリューションでは、80%の時間短縮、50%のコスト削減、作業者のリスク 0、精度 20%向上を実現する。	O-BIC 賞
MobyFly	スイス	21 世紀における大量輸送の最前線に立ち、将来の水上輸送を変えるべく、高速で効率的なゼロエミッションの水中翼船を設計する。時速 70km 以上のスピードで、最大 300 人の乗客を快適に水上輸送	大阪・関西万博/JETRO 大阪本部賞

		<p>することができ、現在のディーゼルフエリーに比べて最大70%少ないエネルギーで航行することが可能。</p>	
FLYING WHALES	フランス	<p>ホバリング状態で最大60トンの積載貨物の積み下ろしが可能な先駆的な航空貨物ソリューション、LCA60Tを開発。</p> <p>林業、再生可能エネルギー、建設および開発、産業用貨物の運搬、人道支援および災害救助といった5つの主要分野に対応し、CO2排出量の少ない輸送手段の実現に向けて取り組んでいる。</p>	
Sharper Shape Inc.	アメリカ	<p>公共インフラ向けに最高クラスのデータとハイコンテキストなデジタルツインを作成することができる、AIによるエンドツーエンドの統合技術一式を提供。</p> <p>公益事業者が主要なリスク要因に対処し、リスクベースの事前対応型資産管理システムへ移行できるよう支援することに注力している。</p>	KGAP+賞
Infinite Foundry	ブラジル	<p>工場向けに、3Dデジタルツインで工場の生産環境を構築する。</p> <p>顧客の目的に合わせてフルカスタマイズすることが可能で、生産状況のモニタリング能力の向上と生産トラブルの低減、レイアウトと作業効率の最適化、工場内での手作業をリアルタイムで人間工学的にマッピングしたり、作業場の正確なデジタルレプリカにおける作業員の仮想トレーニングを実現する。</p>	
株式会社アジラ	日本	<p>防犯セキュリティドメインに施設向けAI警備システム「アジラ」を提供する。世界トップクラスの人物の行動推定技術を保有。7ヶ国の高度なIT人材が在籍し、日本とベトナムに拠点を持つグローバルスタートアップ。</p>	
NanoLock security	イスラエル	<p>ゼロトラスト（すべての通信を信用しないことを前提にさまざまなセキュリティ対策を講じる）かつデバイスレベルでデバイス・機器を保護する。デバイスや機器レベルで重要なコードやデータを不正に改ざんされることを未然に防ぎ、機器の運用性を維持、事業継続性を保持することができる。</p>	

2. 国際会議

日時：2022年2月10日（木）午後1時から午後7時

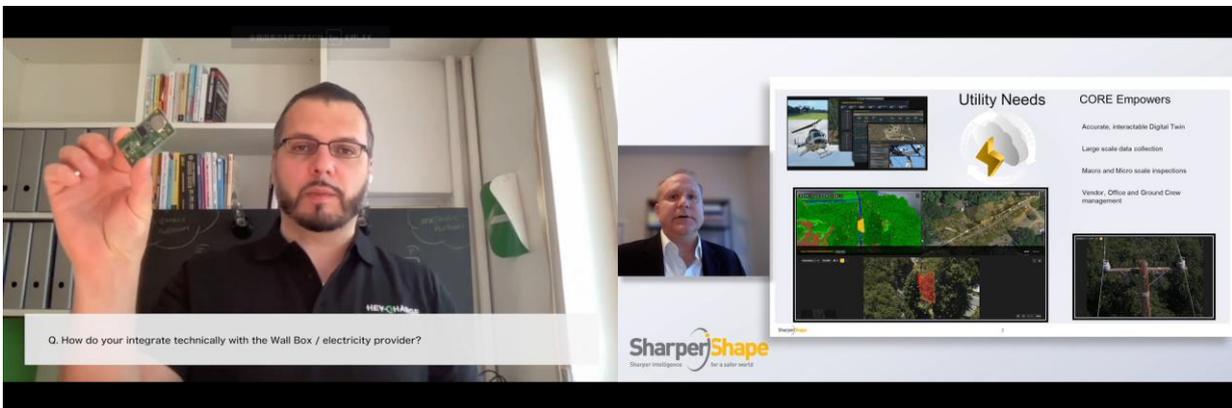
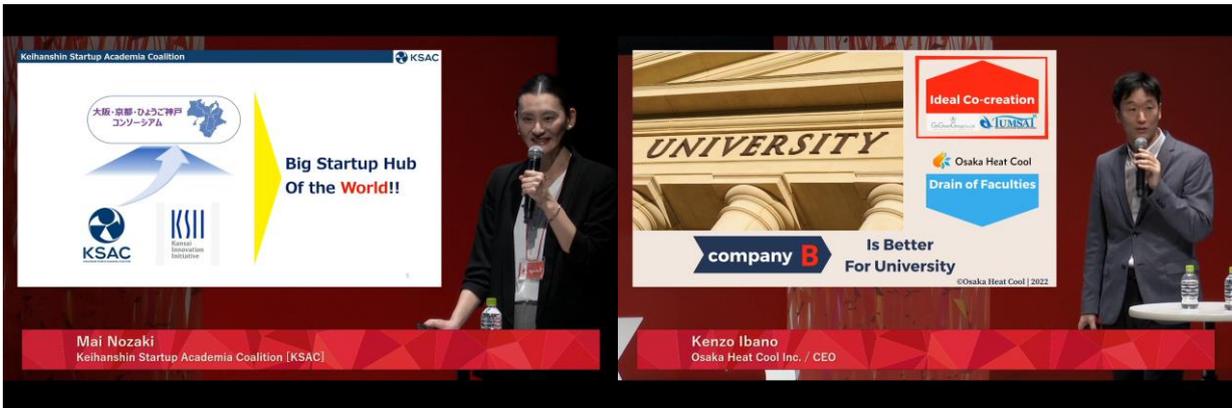
会場：ナレッジシアター及びEventHub（ハイブリッド形式）

EventHub 申込者数（2022年2月28日（月）時点）：801名

▼国際会議の様子（ナレッジシアター）



▼国際会議の様子（EventHub でのオンライン配信画面より）



3. スタートアップ商談会

日時：2022年2月8日（火）・9日（水）9時～20時

2月14日（月）より2月25日（金）まで日本企業の希望に応じてスポット対応

会場：Zoom

商談会参加数：海外スタートアップ14社、日本スタートアップ1社（以下参照）

商談件数：46件

▼商談会のみに参加したスタートアップ

企業名	国・地域	プロダクト・サービス概要
BYSTAMP	フランス	所有者のデジタルIDを含む完全自動電子はんこ「KEYMO」を開発。 組み込まれた分散型署名ソリューションにより、ユーザーはどのようなPDF文書にもPINコードで確認された署名を「その場で」行うことができる。2つの国際特許を取得しており、CES2020での受賞歴もある。
Falconry Inc.	アメリカ	独自のAIを駆使し、テラバイト単位のセンサーデータをリアルタイムに検証することで、製造業や防衛関連機関に対し、インサイトを提供のうえ個々のオペレーションを俯瞰する。 複数のソースから接続されたデータストリームのデータを100%検証し、偏りや障害を明らかにすることで、信頼性、品質、効率面での運用の大幅な改善する。
Innoviz Technologies	イスラエル	自動車メーカーに最適な3DのLiDARを提供し、安全で効率的な自動運転を実現するために設立されたスタートアップ。シャトルやロボタクシーへはもちろん、建設、セキュリティ、スマートシティ（V2Xを含む）、重機、農業、海運、無人配送車、ロボット工学、地図作成等の非自動車分野への提供も目指している。
Materna IPS GmbH	ドイツ	生体認証の導入により（主に空港での）搭乗手続きを自動化、タッチポイントを削減し、感染リスク発生時にも更なる安全性、迅速性、そして効率性を実現。 航空分野以外でも、長距離バスや鉄道、スポーツ、エンタメ会場など日本市場で幅広く展開予定。
Verily Vision	タイ	物流とサプライチェーンの変革を推進する、物流トータルソリューション・システムインテグレータ。 港湾・倉庫・工場などの物流事業者向けに、貨物のコンテナ番号とトラックのナンバープレートのデータを確認するCCTVによる自動認識と管理システムを連携させたソリューションを提供している。

4. 広報実績

- ・開催リリース配信並びにオフィシャルサイト公開：2021年9月14日（火）
- ・コンテンツ詳細に関するリリース配信及びサイト更新公開、視聴者募集開始：2022年1月20日（木）
- ・メディア掲載
 - －[NewsPicks](#)（2022年1月25日（火））なぜ海外企業家が集うのか。「Hack Osaka」に見る大阪の力

以上